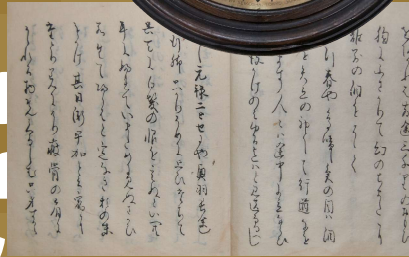


開館40周年記念



ADACHI CITY MUSEUM
足立区立郷土博物館

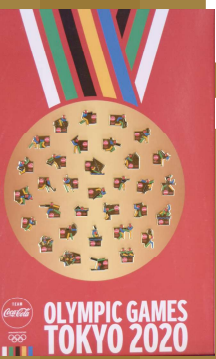


収蔵

個性光る、足立のいっぴんたち



資料展



郷土博物館が収集した未公開資料を中心に、
個性豊かないっぴんを公開します。

令和8年
2026

4月29日(祝水)・8月30日(日)



ADACHI CITY MUSEUM
足立区立郷土博物館



収蔵資料展 個性光る、足立の いっぴんたち

足立区立郷土博物館は、令和8年11月に開館40年を迎えます。

郷土博物館では、多くの資料を調査、収集、研究し、展覧会を通じてその成果を紹介してきた一方、展覧会のテーマの枠に収まりきらず、公開の機会を得られなかった個性豊かな資料も存在します。

本展では、そうした資料の中から、近年収集したものを中心にご紹介します。

展示コーナー紹介

美のコレクションに仲間入り

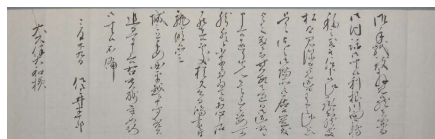
足立区の文化遺産調査により、江戸時代から続く旧家から新たに発見された美術品などを初出展します。



〈初披露〉袱紗「月に萩図」/
鈴木守一（渋谷家寄贈資料）
琳派絵師・鈴木守一の描いた袱紗（小さな風呂敷）。郷土博物館が改修工事のため休館していた令和6年に千住の商家だった家で発見され、寄贈された作品。

語ればふか〜い いっぴん

古文書が語る臨場感あふれる歴史の一面。モノにまつわるうんちく。見ただけではわからない、聞けば聞くほど面白い、深みのある資料を紹介します。



佐々井半十郎（幕府陸軍隊長）が新撰組・近藤勇に送った手紙。

官軍から逃れるため、綾瀬から流山へ退避しようとしていた新撰組に対し、そのまま綾瀬に留まるようにと命じる内容が書かれている。

いにしえの行事を伝える

伝統的な生活の中で、信仰をもとに祖先から受け継がれてきた、一年の無事と豊作を祈る行事を今に伝える資料をご紹介します。



花畑で小正月（1月15日）に行われていた「粥占（かゆうら）」の様子と、粥占で使用された粥柱（品川区文化財保護審議会委員 佐藤 高氏撮影・寄贈）。粥占は、粥柱（木の棒）で粥をませ、付いた粥の量で吉凶をうらなう占いです。粥柱は地元の方は「ケバシラ」と呼んでいます。

あの感動をもう一度

残された道具や記念品は、在りし日の感動や思い出をよみがえらせてくれます。



「かき打ち娘」人形（広島県）
かき打ち娘（広島県で牡蠣のむき身作業に従事する人）の人形です。
開館当初に区内の土産物コレクターより寄贈されたものですが、お披露目の機会はほとんどありませんでした。

足立区立郷土博物館 ADACHI CITY MUSEUM

- 開館時間** 午前9時～午後5時（最終入館は午後4時30分）
- 休館日** 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は開館し、翌平日に休館）
令和8年5月25日（月）～6月4日（木） 予定（館内消毒期間）
- 入館料** 一般200円（高校生以上） 団体20名以上は半額
※ 70歳以上の方、障がい者手帳所持者およびその介護者1名は無料
※ 毎月第2・3土曜日は無料公開日
※ 18歳以下の方は7月21日（火）～8月30日（日）は無料
- 交通案内** JR亀有駅北口、東京メトロ千代田線北綾瀬駅、つくばエクスプレス八潮駅南口からバス。無料駐車場あり。
- 所在地** 120-0001 東京都足立区大谷田 5-20-1
電話 03-3620-9393 / F A X 03-5697-6562



ADACHI CITY MUSEUM
足立区立郷土博物館

昭和61年11月に開館した郷土博物館は、令和8年に40周年を迎えます。8年度は、40周年を記念した展覧会・企画展を実施します。詳細は、今後、郷土博物館のホームページなどでお知らせします。

